



志賀一区の区長で嵐山町区長会の会長を務める内田方巳さんに話を伺いました。

嵐山町の幼少期の思い出などがあれば教えてください。

私は昭和20年に嵐山町で生まれ、20歳頃まで住んでいました。当時は、貧しかったことが印象的です。周りも農家が多かったですが、田んぼの面積は狭く、三反農家といわれる農家が多くあったように思います。収入を増やすために、養蚕もやって暮らしている家が多くありました。私の家族は、一部屋で寝起きし、残りの部屋はすべて蚕に使われていました。

子どもの頃はどんなことを遊びましたか。

チャンバラごっこをしたり、鳥を捕まえたり、近所の子どもたちと一日中外で遊ぶやんちゃ

嵐山町のよさとはどんなところだと思いますか。

私は約40年、仕事の都合で嵐山町から離れていましたが、定年退職を機に帰ってきました。帰ってきた理由は、小さい頃の思い出もあるし、近所の方にも世話になったし、良い思い出が色々ある場所だからです。改めて感じるのは、嵐山町は、歴史と自然が非常に豊かなまちだということ。私



坊主でした。夏場は、よく沼で泳いで遊んでいました。

嵐山町以外の場所に住んだことはありますか。

転勤が多い仕事だったので、10回以上転勤をし、全国を回りました。一番長く住んでいたのは30代の頃にいた福岡市です。他にも、名古屋や静岡市など、会社の支店がある大都市に住んでいました。当時は、嵐山町と大都市との教育や金銭的な格差に驚きました。

嵐山町のよさとはどんなところだと思いますか。

私は約40年、仕事の都合で嵐山町から離れていましたが、定年退職を機に帰ってきました。帰ってきた理由は、小さい頃の思い出もあるし、近所の方にも世話になったし、良い思い出が色々ある場所だからです。改めて感じるのは、嵐山町は、歴史と自然が非常に豊かなまちだということ。私



嵐山町スポーツ少年団本部長を務める畹迫昌和さんに話を伺いました。

嵐山町の印象などを聞かせてください。

私は嵐山町出身ではなく、東京の大田区で生まれ育ちました。25歳頃東松山市のアパートに移り住み、その後知り合いの紹介で嵐山町に住み始めました。現在千手堂に住んでいます。しがらみや干渉はなく、近所の関わりや助け合いは程よくあり、最初からとても暮らしやすい場所だと感じました。ご近所の方に恵まれたというのも大きかったです。

他の市町村と比較して、嵐山町をどう思いますか。

生活の利便性は、東京には適わないですね。東京では24時間



子どもがいますので、公園にはよく行っています。嵐山溪谷パークキュー場は、町外のお友達と一緒にパークキューをやったこともあり、嵐山町の自慢できる場所だと思っています。子ども

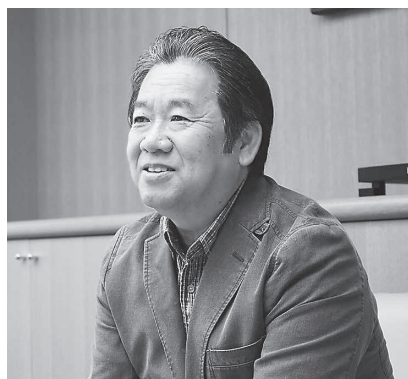


嵐山町で好きな場所や思い出の場所がありますか。

大平山のトラスト地周辺をハイキングすることが好きです。自然がたくさんあり、落ち着く空間です。

現在の活動と今後の目標について聞かせてください。

嵐山町でスポーツ少年団のコーチを始めて29年経ちました。やっていて嬉しいことは、子どもたちとのつながりが生まれ、続いてい



同じ生活ができます。嵐山町では夜は真っ暗になってしまいお店も閉まる。そのことに不便さを感じることがありました。しかし、その分、山や川などの自然に囲まれてゆつくりできることが魅力だと思います。大田区にも川はありますが、川の質は全く違います。子どもたちが川に入って遊べる環境は大変貴重だと思います。



長年嵐山町のスポーツ振興に尽力されている畹迫さんには、子どもたちとの交流のあたたかさを伺うことができました。ありがとうございました。

くことです。今までに300人以上の子どもの見送っています。が、卒団生が私のことを覚えていてくれて、街中で会うと挨拶をしてくれるのは嬉しいことです。町外で声をかけられたこともあります。コーチをやっていたよかったです。瞬間です。今後も、子どもたちとの関わりを大切にしていきたいです。

これから嵐山町に期待することはありますか。

人口が増え、町が活性化するという思いがあります。今は平均年齢も上がっているのですが、若い世代が嵐山町に住んでくれると嬉しいですね。そのためには、企業誘致に力を入れて欲しいです。企業誘致にはリスクもありますが、人がついてくるとメリットもあると思います。職場に通勤できる距離に家を買おうと考える人は多い。仕事が嵐山町にあれば、嵐山町に住んでくれる若い方も増えるのではないのでしょうか。子どもが増えていくことを期待しています。



現在区長会長を務めていただいている内田さんには、未来を見据えたまちづくりの大切さについて伺うことができました。ありがとうございました。

は歴史が好きなので、町内の史跡を歩いて回るのが好きです。

今後の夢や目標などを聞かせてください。

元々嵐山町に住んでいる人と、新しく入ってくる人の間に立ち、うまく共存していきたいです。そして、嵐山町の自然を守っていききたいと思っています。何代も嵐山町に住み続けている人々と、引越してきた人の間には、気持ちの上でギャップを感じることもあります。その調整役になれたらと思います。また、相続した土地の管理に困り、手放してしまう方も多いですが、業者の手に渡り開発された土地が景観や自然を壊すこともありますが、開発も必要ですが、自然や景観が壊れていってしまわないよう、長い目で見たまちづくりも考えなければいけないと感じます。私に直接出来ることは少ないかもしれませんが、若い世代には自分たちの持つ知識を伝えていき、嵐山町を守る手伝いのできたらと思っています。

## 新しい50年に向けて新たなプロジェクトが進んでいます!!

### 千年の苑プロジェクト

大字鎌形地内、嵐山溪谷BQ場脇の農地に関東一の約10haのラベンダー農園を植栽しています。

春の都幾川堤の桜の後、6月から7月にかけて、ラベンダーが咲き誇ることでしょう。



### 武蔵嵐山駅周辺活性化10年計画

長い間多くの方々から要望を頂いていた武蔵嵐山駅西口の活性化。

武蔵嵐山駅東西連絡通路の大改修の後、地域活力創出拠点の整備等「武蔵嵐山駅活性化10年計画」をスタートさせています。

### 武蔵嵐山の再生

嵐山町の町名の由来となった「武蔵嵐山」。埼玉県の人である本多静六博士の見た風景を再生すべく、嵐山溪谷の整備とモミジを約300本植栽しました。



## ～嵐山町のこれからの50年に向けて～

嵐山町が誕生してから50年。これまで歩んできたことや、これからの50年を特集しました。皆さんや皆さんの家族の50年はどんな歩みでしたか。以前の嵐山町、以前の日本を思い出して頂き、これまで歩んできたこと、これからのことをご家庭や友人の方と話してみたいですか？これからの嵐山町になるよう、多くの方々と共に歩んでいきたいと思っています。

問合せ 地域支援課 政策創生担当 ☎62-2152

「農林61号」を使った昔ながらのうどんを復活する「めんこ61プロジェクト」。

農産物直売所裏で味わうことが出来ます。

